



PDA 神奈川県公立高校即興型英語ディベート 体験会

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2020年10月3日(土) 9:00-11:30

会場：神奈川県立厚木高等学校 (Zoom を用いたオンライン開催)

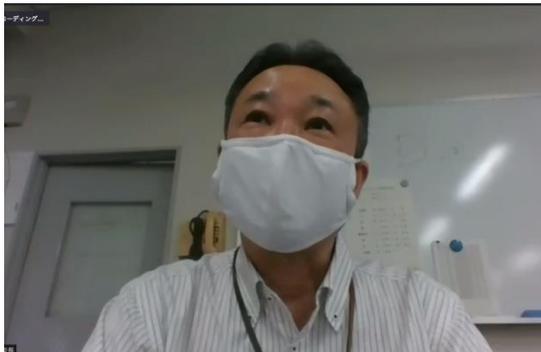
参加者：生徒 28 名 (厚木高校、光陵高校、茅ヶ崎北陵、相模原高校)、教員 5 名

ジャッジ：PDA スタッフ、PDA 認定教育ジャッジ、東京大学

助成：公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI 財団

はじめに、厚木高校の上前悟校長先生より、「緊張するかもしれませんが、ここに集まっている皆さんはモチベーションの高い人ばかりだと思います。日頃の練習の成果を発揮できるよう頑張ってください。」と激励のご挨拶をいただきました。

次に、PDA スタッフより、これまでの神奈川県交流大会の様子の紹介や、ルールの復習を行いました。恒例の POI(Point of Information)の練習では、POI のポーズをしっかりとキめることができました。



上前校長先生のご挨拶



POI 練習の様子

ルールの復習の次は早速ディベートの実践です。第 1 ラウンドでは、現状の問題の分析とその問題が解決するプロセスについて丁寧に説明したり、相手の話をよく聞いて臨機応変に反論したりする姿が見られました。ジャッジのコメントでは反論について、部分否定をしたり、代替案を提示したり様々な反論があることや具体例を説明することで着目している問題の深刻性の伝わる具合が変わることなど、次のラウンドに向けてのアドバイスが伝えられました。

続く第 2 ラウンドでは、第 1 ラウンドでジャッジから受けたアドバイスを活かすべく、重要性の説明を意識したり、反論をしたりする様子が見られました。

ディベートが終わると画面越しにエアー握手をし、お互いの健闘を讃え合いました。



ジェスチャーをしながらスピーチ(茅ヶ崎北陵高校(左) vs 厚木高校(右))



ディベート後のエアークラップ(厚木高校(左) vs 相模原高校(右))



ディベート後のエアークラップ(茅ヶ崎北陵高校(左上) vs 厚木高校(下))



ジャッジを見て堂々とスピーチ（相模原高校(左)・光陵高校(右)）

最後に、第2ラウンドでベストディベータに選ばれた生徒が「いつも同じ高校の人とディベートをしているため、相手チームのアイデアもわかるが、他校の人とディベートすると、普段よりもどう伝えなければならないかを意識した。また他の高校の人とディベートをしたい」、「相手チームばかり意識しがちだが、チームメイトとどのように情報共有するかということも重要だと感じた。」など感想を述べ、体験会は終了しました。



ベストディベータに選ばれた生徒による本日の感想

参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・改めてもっと頑張ろうと感ずることが出来ました。今回の経験をこれからのディベートに生かしていきたいです。（厚木高校）
- ・知らない人と楽しくコミュニケーション出来て楽しかった。（厚木高校）
- ・様々な角度から物事を見ることができ、他校の方から刺激をもらい、楽しかったです。自分はまだまだ未熟ですが、今回交流した方々のようにスキルをみがき、もっとディベートをうまくできるようになりたいと思います。（厚木高校）
- ・ディベートなので、仲間との情報共有も重要であると感じました。（厚木高校）
- ・初めて他校の生徒とディベートを行ったことで、感ずを掴むことができたことがよかったです。また、楽しく討論できた。（光陵高校）
- ・他の学校の人とやるのが初めてだったので新鮮だった（光陵高校）
- ・他校の人とできたから、いつも知っているメンバーとやるのと違って思っでなかつた反論が来たりして面白かったです。（茅ヶ崎北陵高校）
- ・英語が大好きな私にとってこのようにディベートで他校の素晴らしい生徒と英語力を高め会えてとても楽しかったです！（茅ヶ崎北陵高校）
- ・いろいろな人の意見が聞けて楽しかったから。ディベート中に気づかなかつたポイントとかを見つけると楽しい。（茅ヶ崎北陵高校）
- ・久々の他校との大会で緊張していましたが、特に最後の個人コメントでジャッジの先生が丁寧に説明してくださつたので、ディベートの流れがわかっただけでなく改善点を見つめることもできました。とても良い刺激になつたので、自分の課題を改善し、次の県大会でより良いスピーチができるようにしたいと思います。（茅ヶ崎北陵高校）
- ・とても難しかったが、自分の思っでいることを話したり、相手の意見を聞くことができた。即興で英語ディベートをするのは初めての経験で、とても難しかったが、楽しかった。他の学校の生徒から表現仕方や、意見の強め方を学べたことも良かった。相手の意見を聞いて理解し、反論を言うこと、自分の経験を言っで意見を強めることができいなかつたので、とても悔しかった。もっとディベートが上手になりたいと思つたので、また機会を見つめて積極的に参加したい。（相模原高校）
- ・中々自分の思っでたことが言えず、もどかしかつたです。原稿をつくるときも焦つてしまいました。臨機応変な対応力を身につけていきたいです。（相模原高校）